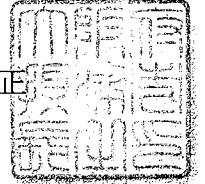




摂環政第376号  
令和2年3月10日

大阪府知事 吉村 洋文 様

摂津市長 森山 一正



北陸新幹線（敦賀・新大阪間）に係る環境影響評価方法書  
に対する環境の保全の見地からの意見について（回答）

令和元年11月27日付、環保第2189号で照会のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

1. 本方法書では、幅を持ったルート帯が示されているため、本工事及び事業実施に伴う環境への影響について、多岐に亘り想定する必要がある。そのため、具体的なルート案を早期に明確に示されたい。
2. 想定ルートでは大部分が大深度地下を含む地下トンネルになると予測されるが、本市では、過去に地下水の汲み上げが原因と考えられる著しい地盤沈下を記録しており、地下トンネル工事に伴う地下水、及び地盤沈下の影響が懸念される。事前に専門家等による環境影響評価を行い、地盤沈下が発生しないよう万全の対策を講じること。
3. 本市域への工事ヤード等の設置や、本市域を建設発生土の運搬に伴う工事関係車両が、頻繁に通行することが予測される。騒音、振動、粉塵等の発生について、周辺環境に十分配慮し、適切な対応を講じること。

以上